

# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年 生徒質問紙

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

<p>【学習に関すること】</p> <p>○『家で、自分で計画を立てて勉強しているか』の質問では、肯定的回答が76.9%であり、全国・県の割合をそれぞれ13.4ポイント、8.4ポイント上回っている。</p> <p>○『学級の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか』の質問に対する肯定的回答は80.8%で、全国の割合を10.7ポイント、県の割合を7.5ポイント上回っている。</p> <p>○国語・数学に関する一連の質問では肯定的回答の割合が高く、全国・県の割合を上回っている項目が多い。</p> <p>○『新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができたか』の質問では、肯定的回答が46.1%であり、全国・県の割合を上回っている。</p> <p>○『総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか』の質問に対する肯定的回答は86.4%で、全国の割合を16.2ポイント、県の割合を5.8ポイント上回っている。</p> <p>【学校生活等】</p> <p>○『学校に行くのは楽しいと思うか』の質問に対する肯定的回答が86.9%で、全国の割合を5.8ポイント、県の割合を3.1ポイント上回っている。</p> <p>○『自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができるか』という質問の肯定的回答が85.3%であり、全国の割合を10.1ポイント、県の割合を7.3ポイント上回っている。生徒の自己表現力の高さがうかがえる。</p> <p>○『自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか』の質問に対する肯定的回答が82.2%で、全国・県の割合をそれぞれ7.5ポイント、4.3ポイント上回っている。</p> <p>【地域との関わり等】</p> <p>○『地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか』の質問に対する肯定的回答が62.9%で、全国・県の割合をそれぞれ19.1ポイント、13.0ポイント上回っている。</p> <p>●『今住んでいる地域の行事に参加していますか』の質問に対する肯定的回答が47.7%で、県の割合とほぼ同じであった。新型コロナウイルスの感染により、機会が少ないと考えられる。</p> <p>【社会に対する興味・関心】</p> <p>○『人の役に立つ人間になりたいと思うか』の質問に対する肯定的回答が98.2%で、全国・県の割合を上回っており、他者への思いやりや公徳心の高さがうかがえる。</p> <p>【自分自身に関すること】</p> <p>○『自分には、よいところがあると思うか』の質問に対する肯定的回答が87.9%で、全国・県の割合を上回っている。</p> <p>○『自分でやるよと決めたことはやり遂げるようにしているか』の質問に対する肯定的回答が92.1%で、全国・県の割合をそれぞれ7.9ポイント、4.7ポイント上回っている。</p> <p>【家庭生活】</p> <p>○『朝食を毎日食べているか』『毎日、同じくらいの時刻に寝ているか』『毎日、同じくらいの時刻に起きているか』の質問に対する肯定的回答が、95.9ポイント、88.5ポイント、95.3ポイントで全国・県の割合を上回っており、家庭での生活習慣が身につけている生徒の割合が多い。</p> <p>○『携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか』の質問に対する肯定的回答が73.8%で、全国・県の割合で全国・県の割合を上回っている。</p>
---

## 宇都宮市立豊郷中学校（第3学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<p>①目標を明確にした指導の充実</p> <p>②分かる授業・活気あふれる授業の展開</p> <p>③望ましい学習態度の育成</p> <p>④意欲的に学習できる教室内外の学習環境の整備</p>	<p>・生徒が主体的・対話的に学べる学習形態・学習過程・学習指導の工夫</p> <p>・相互授業参観による授業力向上の推進</p> <p>・家庭学習の充実</p> <p>・GIGAスクール構想に基づくICTの活用</p>	<p>「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問項目について、「はい」という回答割合が、27.2%と全国平均を7.8ポイント上回っている。また、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか」という質問項目について、「はい」という回答割合が、41.9%と全国平均を8.4ポイント上回っている。</p>

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
<p>・生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の影響を受け止めて自分の考えをしっかり伝えていたか』という質問項目について、「はい」という回答割合が、全国平均と比較すると24ポイント上回ったが、県平均と比較すると2.3ポイント下回っている。</p> <p>・「学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」という質問項目については2.6%と、全国平均を7.1ポイント、県平均を6.4ポイント下回っている。</p>	<p>・授業の話し合う活動の中で、相手の話を課題意識を持って聞かせる工夫</p> <p>・授業での積極的なICT機器の活用</p>	<p>・発言しやすい雰囲気作りを更に工夫していくとともに、各教科の授業の話し合う活動の中で、自分から「話す」だけでなく、相手の話をよく「聞く」（「訊く」）ような場面を設定していくなど、話し合いが螺旋状にスムーズにかみ合っていく工夫をしていく。</p> <p>・一人一台端末の有効な活用を考え、授業での効果的な活用を各教科間、学校全体で取り組んでいく。その際、活用すること自体が目的にならないよう、ICT機器が学力向上の手段となるような授業展開を工夫していく。</p>